

日本の子どもの本に描かれる 「西洋」のイメージ

—石井桃子翻訳作品からはじめて—

韓国、カナダ、アメリカ合衆国、日本とさまざまな国に住み、日本児童文学の研究を石井桃子との出会いからはじめた スティーブン・チェさんにお話をうかがいます。石井桃子翻訳作品をはじめとする日本の児童文学に描かれる「西洋」のイメージや、研究の過程で気づいたこと、日本児童文学についての考えをお話いただくことで、国際的な視野からみた「児童文学」について考えます。

2023年3月25日(土) 午後2時～4時
大阪府立中央図書館・2階 多目的室

東大阪市荒本北1-2-1 近鉄けいはんな線荒本駅 北西400m



第一部 講演 第二部 対談 聞き手:土居安子 (IICLO 理事・総括専門員)

◆ 定員 : 50人 (申込先着順)

◆ 参加費 : 無料

◆ 申込方法 : 当財団ホームページ「参加申込」から、または 電話、FAX

スティーブン・チェ (Stephen Choi)



韓国で生まれ、10歳の時に家族でカナダへ移住。アメリカ合衆国ニューヨーク州にあるコロンビア大学博士課程で、日本近代文学・日本児童文学を専攻する。2021年から早稲田大学のビジティング・リサーチ・フェローとして日本に滞在。文学がいかにかに子どもに受容されるかを探りながら、近代日本において児童文学が成立したプロセスをたどることを研究テーマとしている。論文に「女性たちの『小公子』—19世紀末アメリカと日本における女性と子どもの文学」(『比較文学年誌』早稲田大学比較文学研究室 2022年)があり、研究発表に、「〈メンターシップ〉で普及される戦前の啓発書—吉野源三郎『君たちはどう生きるか』の80年」(日本児童文学学会例会、2022年6月)、「本、キャラメル、そしてツアーするカバー—日本の戦後児童文学におけるカバヤ文庫」(アジア研究協会(AAS)大会、2022年3月)などがある。2023年4月からは神奈川大学で非常勤講師をつとめる。

後援 : 大阪府立中央図書館

協賛 : サントリーホールディングス株式会社、富士通Japan株式会社、ムサシ・アイ・テクノ株式会社



一般財団法人

大阪国際児童文学振興財団

International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582

http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp